

令和 8 年 1 月 2 3 日

大洲市長 二宮 隆久 様

大洲市水道事業経営審議会
会長 前田 眞

大洲市工業用水道事業経営戦略について（答申）

令和 7 年 1 0 月 2 1 日付けで諮問のあった大洲市工業用水道事業経営戦略について、下記のとおり答申します。

記

工業用水道事業を取り巻く環境は、平成 21 年度末の松下寿電子工業の撤退後、社会・経済情勢の変動による企業進出の低迷により、工業用水の需要が大きく減少し厳しい経営状況が続いておりました。

大洲市工業用水道事業において、現在の経営戦略は、策定から 4 年が経過しています。また令和 6 年 8 月から大洲バイオマス発電所の稼働によって収益性が高まり大きく改善されたことから、経営の視点を重視して健全経営に努める必要があります。あわせて、近年管路の更新事業が進んでいなかったことから、今後管路の耐震化を進めていくこととしています。

本審議会は、素案を基に基本的な考え方、方向性について専門的な知見や利用者の視点から慎重に審議を行いました。

諮問されました「大洲市工業用水道事業経営戦略について」は、経営戦略として妥当な内容であると認め、これを「大洲市工業用水道事業経営戦略（案）」として答申するものです。

なお、当審議会では出されました次の事項について、十分尊重されることを要望します。

- 1 工業用水道の健全経営の確保について
 - ・関係機関と連携し新たな企業誘致を図ること。
- 2 工業用水道施設等の更新需要について
 - ・水道管更新事業の取組みを強化すること。
 - ・更新管路に適切な優先順位をつけ、被害軽減に努めること。
- 3 情報提供について
 - ・工業用水道事業の管路更新計画における情報提供